



## 長野県木曾青峰高等学校 森林環境科

定員 40 名

～大地をおほふ 樹とならむ～ ※木曾青峰高等学校校歌から引用

木曾青峰高等学校森林環境科の前身は、1901年に開校した木曾山林高等学校であり、100年以上の歴史がある森林・林業の専門学科です。

2年次からは、林業と森林資源活用技術を学ぶ「サイエンスコース」と、地域の伝統、文化、流通や農業を学ぶ「ビジネスコース」に分かれて授業を行っています。

特に林業については、県有林を演習林として活用し、間伐などの森林整備やモノレールを利用した木材の搬出などの実習を行っています。また、地元の林業士（長野県が独自に認定）が講師として協力し、チェーンソーによる立木の伐採方法や、架線集材での搬出に必要なワイヤーロープの編み方など、木曾地域ならではの教育にも力を入れています。

さらに、フォークリフトなどの各種資格も取得できるほか、インドネシア熱帯林などの海外研修や、最近ではドローンの林業への活用も授業に取り入れています。

生徒の課題研究発表の場では、「伝統工芸を守るためには職人の頑張り」と、国のものづくり教育を引っ張る環境が大切」との発表もあるなど、木曾谷の森林文化の担い手が育っています。「地域に根ざした活動を通じて社会性を養い、地域と共に成長していく」ことを目指して学び、明日の林業・木材産業を担う人材が、多く巣立っています。

### 生徒の声 森林環境科3年

インドネシア海外研修では日本では見られない熱帯の植物や動物を見たり、海外の林業や農業について学ぶことにより、将来は海外で活躍してみたいと考えるようになりました。普通の高校生では経験できない数多くのことを高校の3年間で体験できるのが木曾青峰高等学校森林環境科の最大の魅力です。



県有林での演習



モノレールの設置作業



モノレールを利用した木材搬出



伐採研修



伐採研修



ワイヤーロープの編み方講習



## 兵庫県立山崎高等学校 森林環境科学科

定員 40 名

山崎高等学校は、兵庫県の西部に位置する森林面積6万ha、林野率89%の緑豊かな<sup>しそ</sup>宍粟市にあります。古くから製材所や木工・家具製造が地場産業として栄え、林業が地域の基幹産業となっています。

森林環境科学科（旧林業科）は、林業や森林保全について学べる兵庫県下唯一の学科であり、平成30年度に学科開設70周年を迎えます。私たちの安全や生活を支えている森林環境を守り、森林を利用しながら保全していく上で、必要な知識や技術、森林を総合的に利用する能力と態度を身につけたスペシャリストの育成を目標に教育活動を実施しています。

当校は、体験型の学習を特徴としており、森林管理・炭焼き・木材加工・シイタケ栽培・測量・資格取得・演習林実習など幅広い分野への取組を行っています。

また、地域企業での就業体験実習や兵庫森林管理署と連携した国有林見学実習（植樹・高性能林業機械体験）、研究機関（関西育種場）の見学など、産・官・学の連携事業を展開し、先端技術の学びにも力を入れています。

現在は、木のぬくもりを地域の児童に伝える木育活動、宍粟市を含む播磨8市8町と連携した「播磨の木材を使った自転車ラックの製作と地域創生」など、林業を学ぶ高校生だからこそできる活動に取り組んでいます。

### 生徒の声 森林環境科学科3年

私は、森林環境科学科に入学し、森林から多くの恩恵を受けていることに気づくことができました。そして、木材が環境にやさしい資源であること、この資源を未来へ残すためには、林業の仕事が必要不可欠であると実感しています。将来は、森林管理に関わる仕事に就きたいと考えており、夢の実現に向けて、現在受験勉強に励んでいます。また、高校生である自分にできることを考え、地元である宍粟市や姫路市と連携した間伐材を使った自転車ラックの製作に取り組んでいます。



炭焼き実習



木材加工の授業



演習林実習



国有林での植樹体験



関西育種場見学



間伐材を活用した自転車ラックの製作